

図書館だより 10月号

平成30年度 新居浜工業高等学校 図書委員会

すっかり秋らしい気候になりましたが、「読書の秋」は楽しんでますか？今月は「読書週間」もあります。図書室へ積極的に足を運んで、たくさんの本と触れ合ってみてくださいね。

今年の「読書週間」は 10月27日(土)～11月9日(金) 14日間です！



2018 第72回 読書週間

標語 ～ホッと一息 本と一息～

「読書週間」とは？

1947（昭和22）年、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られたりしました。そのときの反響は素晴らしく、翌年の第2回からは、期間が10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）となり、国民的行事として定着しました。暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。また、『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定されました。よりいっそう、読書の秋を楽しめるように、盛り上がっていきたいですね。

●秋の読書のススメ●

本を読むという行為には、集中力が必要となります。そういう意味では、テレビを見たり、スマートフォンを触ったりすることの方が、気軽にできますね。しかし、だからこそ、私たちには読書が必要なのだと思います。秋の夜は長いです！普段気にしていないようなことでも、夜遅くまで起きていると、ふと気になってしまったり。もう考えたくないことが、気づけば脳裏に浮かんでしまっていたり。そんな、現実と日々格闘していく毎日ですが、本を読むことで、自分の中に新しい風を吹かせることができます。また、読書に集中すると、他の雑多な心配事や悩みから、一時の間解放されることができます。本を読むことに意識が集中してしまいますからね。本の世界に浸って、ホッと一息。そしてその後、自分の目の前の現実ともう一度向き合ってみると、また違った見方ができることもあるかもしれません。本は、人生を生きていくための強力な助っ人です。ぜひ味方につけてください。

～先生の思い出の本、忘れられない本～

養護教諭 難波江 先生 おすすめの一冊

書名 『こころ』 著者 夏目漱石



高校生のとき、授業でこの話を読んで、とても衝撃を受けました。授業で習うのは一部なので、全部読んでみたいと思い、図書室に借りに行って読みました。結局自分で本を買って、何度も読み直してしまう程、どうしようもなく惹かれてしまう小説です。

17歳だった私の感想は「納得できない！！」です。本当にやりきれなくて、誰かのどれかの行動が少しでも違っていたらこんな結末になっていないのに…、自分だったらこうするのに…、自分が近くにいたらこうしたら良いよって伝えるのに… どうしてこうなったのだろうという気持ちがずっとありました。

高校生だった頃から数年(?)経ち、大人になった今思うのは、「わかっているけどできないことがある」ということです。最良の判断を瞬時にできない。こうしたほうが良いとわかっているけど、行動できない。あとから、あのときこうしておけば良かった、違う行動を選択したら良かったと後悔する。授業で習う「私」と「K」の判断・行動は、今の私でも納得はできませんが、その瞬間、そうするしかなかった気持ちはわかるようになった気がします。

人生は選択の連続です。選択を間違えることによって取り返しのつかないことになることもあります。私自身、たくさん間違えて、後悔することのほうが圧倒的に多いです。それでも私は、これからも選択し続けます。違う選択をした未来は誰にもわかりません。今の自分が選択した行動の先には、明るい未来があってほしいなと思いつつ、瞬間的に自分の欲求にしたがって動いてしまう自分がいることにも気付く、そんな2018年秋…！！

(今月の新刊本紹介)

分類番号	書名	著者名	出版社
哲学 159	人生はワンモアチャンス!	水野 敬也	文響社
	人生はもっとニャンとかなる!	水野 敬也	文響社
	まんがでわかる7つの習慣	小山 鹿梨子	宝島社
社会科学 361	友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える	菅野 仁	筑摩書房
芸術 709	国宝の解剖図鑑	佐藤 晃子	エクスナレッジ
文学 913	弱いつながり	東 浩紀	幻冬舎
	人魚の眠る家	東野 圭吾	幻冬舎
	魔力の胎動	東野 圭吾	KADOKAWA
	緋弾のアリア29	赤松 中学	KADOKAWA
	旅猫レポート	有川 浩	講談社
	宵物語	西尾 維新	講談社
	下町ロケット ゴースト	池井戸 潤	小学館
	送り火	高橋 弘希	文藝春秋
	ファーストラヴ	島本 理生	文藝春秋
	未来	湊 かなえ	双葉社
	いなくなれ、群青	河野 裕	新潮社